博士前期課程(修士)/健康看護学領域/地域・精神・保健学分野科目コード: 220016 地域看護高度実践実習【B-2】

担当教	員	石垣 和子 塚田 久恵 織田 初江						
		平田 和子(実習地のCNS)						
実務経	験							
開講年次		2年次前期	単位数	2	授業形態	実習		
必修・選択		必修	時間数	90				
Keywo	rds							
学習日	的・目標	そのために、人々を個、ベル・集団レベル・地域ではる。また、今日の多ならず幅広い視野からが 動が実践出来る専門看記をもとにアセスメント 働しながら健康や保健原と地域の看護職や保健医別	人として捉えるだけでな 或レベルでの相互影響や 様化・複雑化した人々の 多角的に捉え、より高い 護師に必要な知識技術を 虐待家族、多問題家族な 行政資策とう技術を ・計画策定する技術を身 ・コニティ形成を図ること 療福祉に関わる人々の教	かに守り支える地域専門 すく、個人と密接に関わり く、各レベルの視点からの 健康水準やQOLの達成を 身に付ける。学習目標: ジ複雑で多源に地域活動を だ相、大きのでは、多いでは でできる能力を以びで でできる能力をびや相談 ででも支援能力 でいて関係者間の倫理的	ながら相互に影響問題の構造・根源 関題の構造・根源 対するだけの自 が関する支援が がでする支援が がでするを関節が がでする。 は、 がでする。 がででする。 がででする。 がでする。 がでする。 がでする。 がです。 がでする。 がです。 が	を及ぼしあって を解き明いすり を解き明、保健 別造的、革新的 力を情報 からのの機関と からの機関と が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	ている家族レ 能力を身に付 医療福祉のみ な地域保健活 2.健康活 2.の地連携・な 動と連携・協 求められる、	
	画・内容							
回	内容 オリエンテーシ	/ョン/実習計画の作成			授業方法 講義 演習	場所 大学	担当 石垣 織田 塚田	
2~4	臨地実習(保健	!所、または保健所を設置	置する市)		実習	実習施設	石垣	
(前半	(1) 個人・家族を対象として、					及び	織田	
		高齢者虐待家族、多問題家族などの事例検討(可能であれば訪問同行や相談同家族とのコミュニケーション方法、問題の所在の探索方法、的確な支援の方				実習施設	塚田	
	法等を学修する)を通し、家族とのコミュニケーション方法、同趣の所任の採案方法、的確な叉接の方等を学修する。当事者の人権擁護のための法的処置の知識も具体的かつ実体的に学修 、他の保健師を支援できるに足る知識を身に付ける。				の所在する	(以上3人に 適宜のみ)	
	(2) 広域的な~	域的なヘルスプロモーション政策に向けた情報の収集と計画策定				地域	及び平田(身 習地の指導者	
	い、広域的なへ 政外の機関・組	(・コミュニティの人的資 ルスプロモーションに資 織と連携・協働しながら 、自ら学修を深める.)			
	活動と個人情報	る、多職種チーム等におけ		通じて個人と家族、住民	1			
5	中間カンファレ	・ ンス			プレゼン 及び討議	現地の実習 施設	石垣 織田 塚田	
S-9	臨地実習(前半と同じ保健所、または保健所を設置する市)					実習施設及び 実習施設の所		
(後半)	前半の (1) ~ (3) に加えて下記の内容の実習を行う。					在する地域	塚田 (以上3人は 適宜のみ) 及び平田(実	
	(4) 実習地の保健師の胸を借りて							
	実習地の新人保 的に知り、	!健師や中堅保健師にどの			習地の指導者)			
実際に相談を打 10 カンファレンス		4供して自身が身に付ける 、	るべき知識技術及び教育	や相談能力を確かめる。	プレゼン及び討 議	現地の実習施 設	石垣 織田 塚田 及び平田	
教科書		なし						
参考図書等		なし その他適宜紹介する						
評価指標		実習日数が7割以上であること。困難ケースの事例検討を現地の保健師と行うこと。アセスメント・計画策定を試行すること。 さらに、日々の実習記録や課題に対するプレゼンテーションの内容が80点以上であること(100点満点)上記に加えて実習に対する積極性を総合的に判断して評価する。						

関連科目	
教員から学生への メッセージ	